龍跳

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和六年五月十三日発行（毎月一回十三日発行）
定価　五〇〇円

第992号

第八十巻

6月号

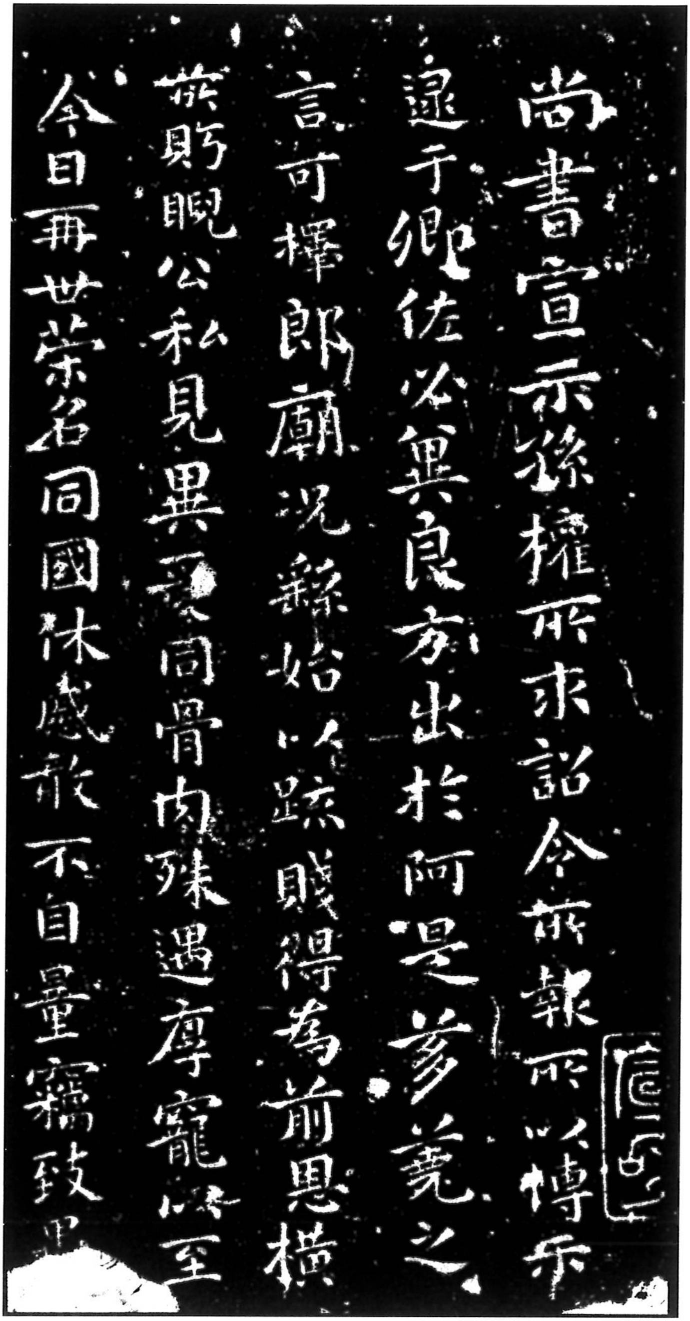
高知
龍跳書道会

出間桂堂書

山川四望春

宣示表

鍾繇



尚書宣示孫權所求詔令所報所以博示逯干鄉佐必冀良方出於阿是芻蕘之言可擇郎廟況繇始以疏賤得為前思橫所貯睨
公私見異愛同骨肉殊遇厚寵以至今日再世榮名同國休慼敢不自量竊致愚

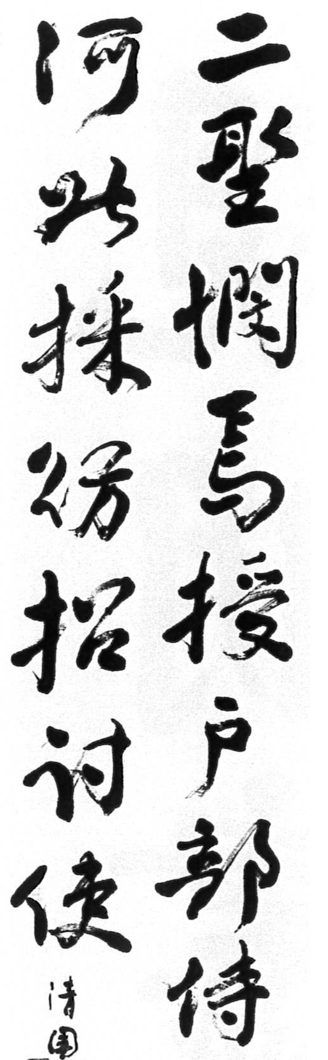
「宣示表」賈似道刻本について

漢末から魏晋へかけて楷書が成立する時期に現れた鐘繇は、王羲之、張芝などと共にその書品は古来最高のものとして尊ばれてきた。宣示表は傳來する鐘繇の書の代表的な作品の一つであり、古来より著名である。この宣示表の眞跡は、西晋時代に楷書をよくし、鐘繇や衛瓘を師としてやまなかった丞相王導の家に蔵されていた。その后王羲之の所に傳わり、王羲之が王修に貸し、没後、棺の中に入れて葬ったため眞跡は滅んだ。後世の傳來するものは、王羲之の臨書を經たものである。

森光望春書

春睡覺來美窗桃發數枝無人自開巻初日上簾時

堅田清園臨



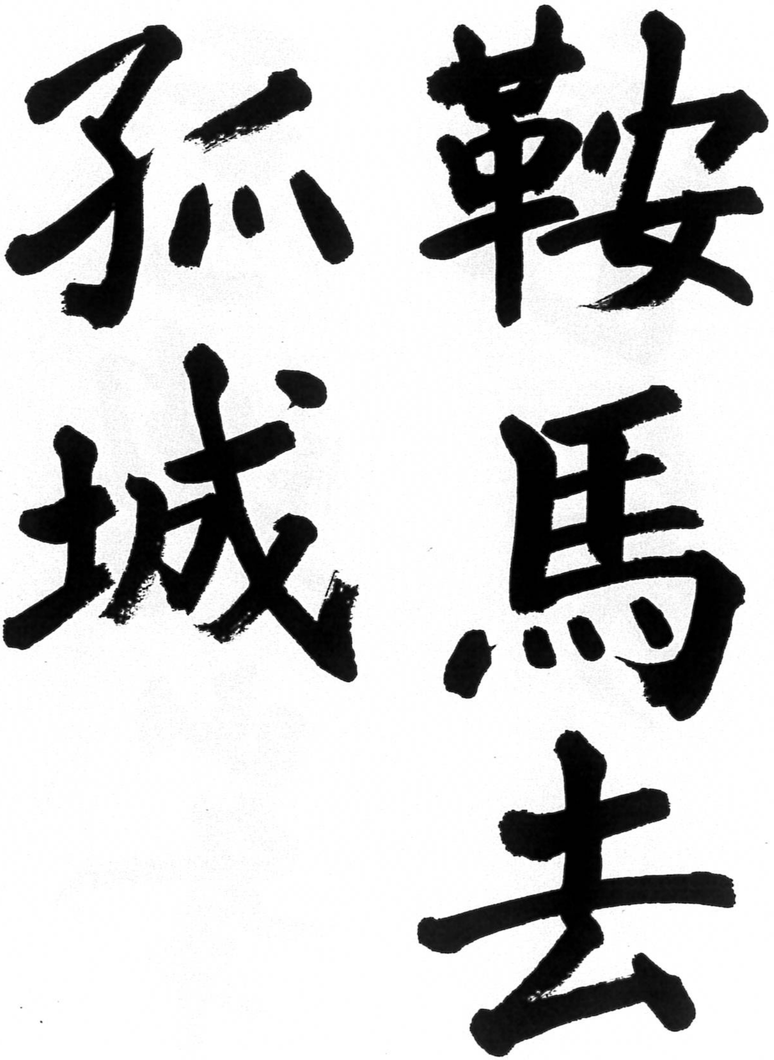
二聖憫焉　授戸部侍郎河北採訪招討使

梅川桂龍書

親朋（しんぼう）　一哭（いっこく）を尽（つ）くし

5月20日締切

梅川桂龍　書



鞍馬（あんば）　弧城（こじょう）を去る

6 月20日締切

福原暁雲書

雲騁(くもは)せ峰巒奇(ほうらんき)なり

福原曉雲臨

宣示表

尚書宣示孫權

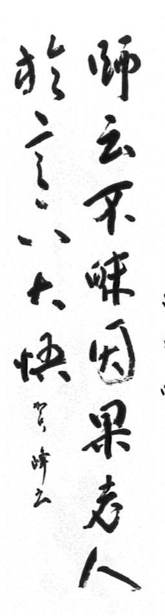
江西澄翠書

西山極山臨

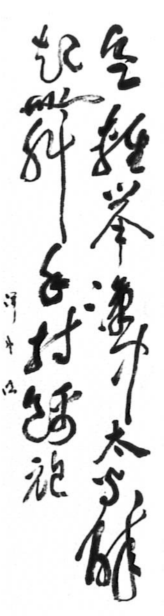
中平美峰書

伊吹悠道臨

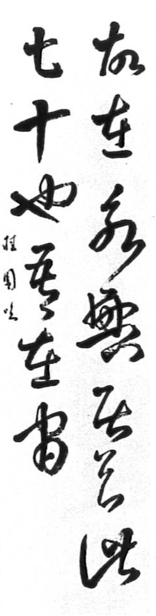
広田秋桜



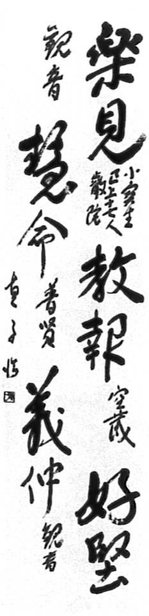
弘田賀峰



浜崎洋堂



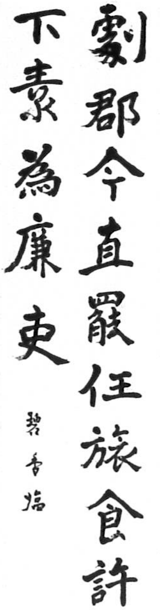
大原桂園



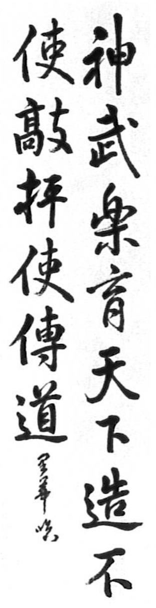
門田恵子

高橋美草

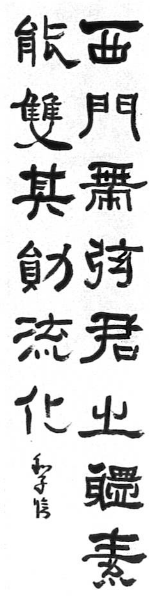
濱田幸子



坂本碧香



岩河里華



田村和子

条幅当選作品

梅川桂龍 選評

★天位

門田恵子君＝空海を臨し躍動感あり、見ごたえがある作。

大原桂園君＝得意とする線の強さは圧巻。

浜崎洋堂君＝黄庭堅の奔放さが充分に発揮されている。

弘田賀峰君＝字々深い線質で風趣あり。

広田秋桜君＝墨量の変化があり、すっきりとしている。

★地位

田村和子君＝やや流れは欠くが素朴で落ち着きあり。

岩河里華君＝いつも通り気負いなく、素直に臨し佳。

坂本碧香君＝前者に同じ。益々ご加勉を期待します。

★人位

濱田幸子君＝今後、筆圧や文字の大小など変化をつければ益々良くなります。

高橋美草君＝懸命な書きぶりに好感のもてる作。これからも頑張ってください。

作品は毎月20日必着
（必ず守って下さい）

▷次回審査会◁

5月の審査は26日（日曜）午前9時30分に開始します。審査会場は**高知会館**です。
※審査終了後、龍跳展下見会の予定です。

中学二・三年課題　武内美仁書

港の
風景

6月20日締切

中学一年課題　廣末幽念　書

学校
放送

6月20日締切

小学六年課題　松﨑緑花　書

池の木立

6 月20日締切

小学五年課題　隅田亘心書

6 月20日締切

小学四年課題　弘田賀峰　書

魚つり

6月20日締切

小学三年課題　大原桂園　書

6月20日締切

小学二年課題　水田紅子　書

6 月20日締切

小学一年・ようち・ほいく課題　大八木　洋女　書

6月20日締切

小学六年課題　江西澄翠　書

俳句は、芭蕉によって芸術として高められました。今も、俳句を作る人は、全国に大勢います。また、最近では、世界で最も短い詩として海外からも注目されています。

学校名

六年

段級

氏名

6月20日締切

小学五年課題　森本寿山　書

地球には、たくさんの、さ
まざまな生き物がいる。生き
物の、最も生き物らしいとこ
ろは、多様だというところだ
ろう。しかし、よく見ると、
その中に共通性がある。

学校名

五 年

段級

氏名

6月20日締切

自分にとって最高のものを実現するためには、「まず動く、そして考える」ことが大切だということです。自分から積極的に動いてみましょう。

学校名

四年

段級

氏名

6月20日締切

小学三年課題　野中恵花　書

友だちの話を聞くと、知らなかったことや、自分もやってみたいと思うことが出てきて、くわしく知りたくなることがありませんか。

学校名	
三年	
段級	
氏名	

6月20日締切

小学二年課題　小川理香書

ミニトマトのみ、
色は、みどり色です。
みの先のほうは赤
いトマトと、同じに
おいがします。

がっこう

二ねん

きゅう　だん

なまえ

6月20日締切

小学一年課題　藤田桂苑　書

ふたりは、なかよしになりました。

「また、あした。」

がっこう

一ねん

きゅう　だん

なまえ

6 月20日締切

ようち・ほいく課題　中平美峰　書

みずうみに
かめが
のそのそ
あるいています。

がっこう

ほ ねん

きゅう だん

なまえ

6月20日締切

第67回　龍跳書道展について

龍跳書道会長　　福原暁雲
龍跳書道展執行委員長 梅川桂龍

各位

龍跳書道展も回を重ね、67回展を迎えることとなりました。ついては下記をご熟読の上、出品をご希望の方は期日を厳守の上、出品票の提出を願います。

※　今回、学童の毛筆と硬筆の優秀作品（龍跳誌６月号）を展示致します。ぜひ、会場にお越し下さいまして、本会に所属する子供さんの作品も、ご覧いただければ幸いです。

第67回 龍跳書道展要領

会　　期…令和６年６月25日(火)～同６月30日(日)
　　　　　９：30～17：00（最終日は15：00迄）
会　　場…県立美術館　県民ギャラリー
出品資格…出品希望者（今回は資格は問いません）
大きさ…特に制限しない。
形　　式…額、枠、屏風、軸など自由。本表装であること。
参加料…**8,000円**
出品点数…１人１点とする。
出品票と…隅田亘心〔〒781-1501　吾川郡仁淀川町大崎133-1〕
参加料の納入　又は福原会長に**5月26日（日）**までに提出のこと。
搬　　入…６月24日（月）午前９時～12時
搬　　出…６月30日（日）午後３時（集合・２時30分）
懇親会…６月30日（日）午後４時～(高知城ホール)
その他…・作品は各自表装店に手配して下さい。
　　　　・出品票の釈文欄は書いた文字を楷書でていねいに書いてください。

※主　催/龍跳書道会
　後援(予定)/高知新聞社・高知放送・ＮＨＫ・テレビ高知・高知さんさんテレビ
　協　賛/幽玄斎・湖筆堂

（一・二段目）　廣末幽念　選評

桂園君＝力味なく温和な作。
緑堂君＝伸び伸びとして良い。
洋堂君＝ていねいで力強い作。
喜泉君＝動き良く筆力あり。
紅風君＝無理なく書して明るい作。
花道君＝のびやかに書けて明るい。

（二・三段目）　塚地桂峰　選評

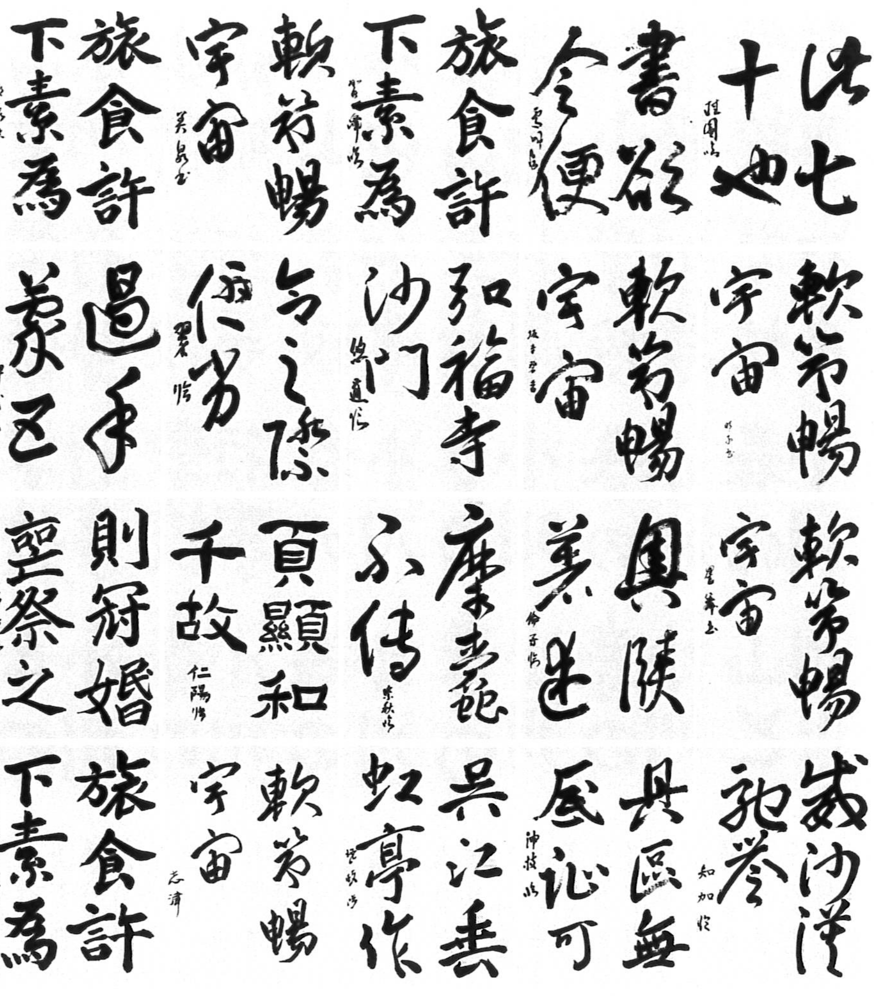
真理君＝線が強く明るい作。
世津君＝力強く堂々とした作。
幽雅君＝動き大きく見ごたえあり。
康華君＝伸びやかな線に好感が持てる。
啓助君＝真面目な作。力強い。

（三・四段目）　武内美仁　選評

紫秋君＝着実な運筆で余裕を感じる。快心の作。
英子君＝字々のめりはりが効果的で良し。
美佑貴君＝気力充実で見ごたえあり。
美香君＝字々明るく、力みなく良くまとめている。
勝子君＝明るく、よく筆が動いている。
知加君＝線丸く、骨格もしっかりし、佳作。

（四段目）　大八木洋女　選評

和世君＝大らかに書されている。
志津君＝清々しさを感じます。
美枝君＝力強く書き上げている。



（一・二段目）　福原曉雲　選評

桂園君＝力量感溢れる大胆作。

處艸君＝よく練れた線で味わい有。

賀峰君＝端正にして情趣有。

美泉君＝布置章法良く、運筆リズムがすばらしい。

喜泉君＝原帖はよく捉えるも線の強さ、今一歩か。精進期待。

明子君＝作品良くとも、落款合わず書した筆で入れること。

（二・三段目）　前田秀華　選評

碧香君＝練度ある線質で気持ち良く流れている。

悠道君＝線に冴えと筆勢あり。

翠　君＝筆がよく動き軽快。

輝代君＝力まず、気軽に臨している。

星舞君＝自然な運筆で紙面が明るい。

（三・四段目）　野島桂山　選評

倫子君＝線はよく伸びてバランスも良い。

紫秋君＝最初の文字もうすこし小さく。

仁陽君＝やさしく真面目な作。

明美君＝筆力あり形も整い大変良い。

知加君＝線に温みがあり余白もすばらしい。

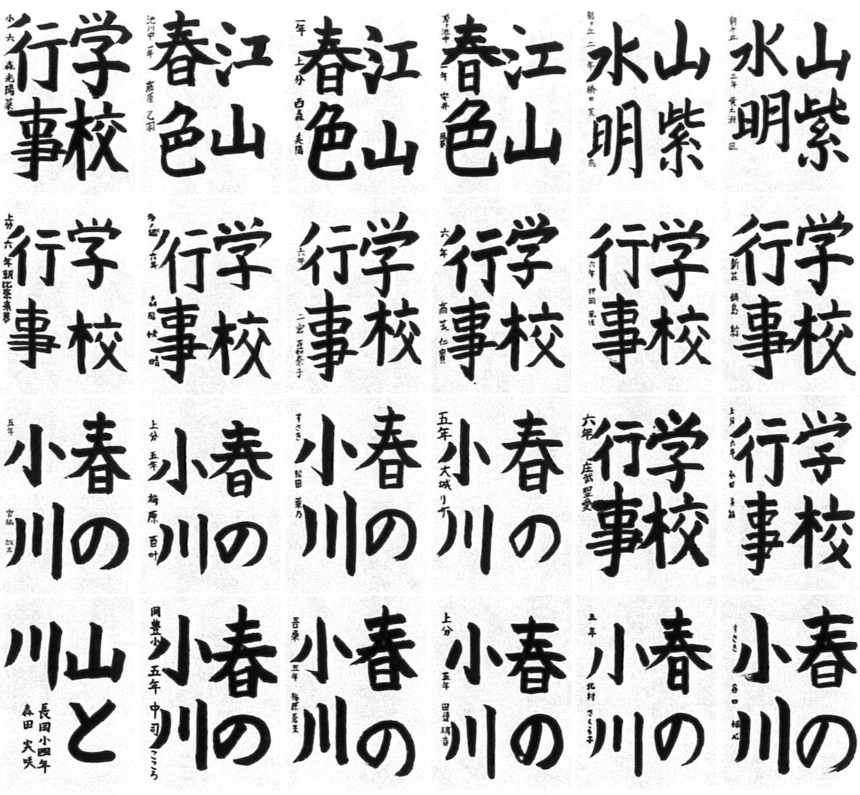
伸枝君＝力みなく伸びやかな作。

（四段目）　岡林邦心　選評

悦枝君＝蜀素帖の雰囲気が良くでて可。

志津君＝形は良いがもっと筆圧をかけると良い。

美枝君＝薦木直表の特徴が出ているが「為」の一角目の払いが残念です。



（一段目）中学部　大原桂園　選評

凪　君＝落ちついた明るい作品です。
茉奈君＝伸びやかで、ていねいな作品です。
風葵君＝元気に書けています。
美陽君＝力強いです。
乙羽君＝ていねいに書けています。

（一・二・三段目）小学六年　中平美峰　選評

陽菜君＝のびやかで良くまとまっています。
綜　君＝まじめに書けました。
風佳君＝良くまとまっています。
仁貴君＝落ちついて書けました。
嘉奈子君＝のびのびと書けています。
快晴君＝まじめに書けました。
来夢君＝よくまとまっています。
美結君＝バランス良く書けました。「学」がおしい。
聖愛君＝力強く書けています。これからもがんばって。

（三・四段目）小学五年　深瀬緑堂　選評

リサ君＝よくまとまっています。
菜乃君＝明るくて大らかです。
百叶君＝柔らかい線で明るい。
改太君＝力強い線で良い。
桜心君＝最後までゆっくりと書いて下さい。
さくら子君＝四文字が良く整っています。
璃音君＝元気で明るい。
蒼茉君＝まじめで落ち着がある。
こころ君＝堂々として力強い。

（四段目）小学四年　奥堂皓月　選評

実咲君＝堂々として立派な作品。

（一・二段目）小学四年
莉李君＝のびやかで明るい。
蒼來君＝線強く堂々と書けている。
健悟君＝字形が整いまじめに書けています。
太緒君＝伸々としっかり書けています。
みおね君＝落ちついて素直に書けています。
湊　君＝筆立ち明るい作品。
蒼功君＝強い線でしっかり書けています。

（二・三段目）小学三年　　河村容舟　選評
太希君＝ていねいに書けた良い作品です。
芳尚君＝思いきり書けています。
朋希君＝力強くまとめています。
梨衣奈君＝おちついて書けています。
かの君＝元気よく書けました。
郁菜君＝まじめに書けています。

（三・四段目）小学二年　　佐竹江月　選評
すず君＝おちついていてていねいに書けています。
はるか君＝のびのびと良く書けています。
れんたろう君＝元気よく書けています。
いぶき君＝ていねいに書けています。
いちか君＝まじめに書けています。
かほ君＝りきまず、すなおに書けています。

（四段目）小学一年・ようち・ほいく　　天野喜泉　選評
望未君＝のびのびとじょうずにかけました。
由茉君＝どうどうとじょうずにかけています。
ゆいと君＝げんきいっぱいにかけています。
こな君＝げんきよくかけましたが、「か」のさいごまで
しっかりね。
かずは君＝かたちよく、げんきにかけています。

多ノ郷　森光　陽菜

一まいの紙から、船が生まれる。飛行機が生まれる。ひとかたまりのねん土から、象が生まれる。つぼが生まれる。わたしたちの手から次々と。

浦ノ内　矢野　蒼真

一まいの紙から、船が生まれる。飛行機が生まれる。ひとかたまりのねん土から、象が生まれる。つぼが生まれる。わたしたちの手から次々と。

久礼　濵田　奏

一まいの紙から、船が生まれる。飛行機が生まれる。ひとかたまりのねん土から、象が生まれる。つぼが生まれる。わたしたちの手から次々と。

長岡　二宮　嘉奈子

一まいの紙から、船が生まれる。飛行機が生まれる。ひとかたまりのねん土から、象が生まれる。つぼが生まれる。わたしたちの手から次々と。

大谷北　倉持　陽向

一まいの紙から、船が生まれる。飛行機が生まれる。ひとかたまりのねん土から、象が生まれる。つぼが生まれる。わたしたちの手から次々と。

上分　梅原　百叶

つやつやしたもなみの、茶色の子馬だ。立ち止まってじっと見ると、目が合った。子馬は、ぱちりとまばたきした。春花は、その美しい目に、すいこまれそうな気がした。

多ノ郷　大城　リサ

つやつやしたもなみの、茶色の子馬だ。立ち止まってじっと見ると、目が合った。子馬は、ぱちりとまばたきした。春花は、その美しい目に、すいこまれそうな気がした。

須崎　松田　菜乃

つやつやしたもなみの、茶色の子馬だ。立ち止まってじっと見ると、目が合った。子馬は、ぱちりとまばたきした。春花は、その美しい目に、すいこまれそうな気がした。

長岡　宮脇　改太

つやつやしたもなみの、茶色の子馬だ。立ち止まってじっと見ると、目が合った。子馬は、ぱちりとまばたきした。春花は、その美しい目に、すいこまれそうな気がした。

上ノ加江　政岡　桃加

つやつやしたもなみの、茶色の子馬だ。立ち止まってじっと見ると、目が合った。子馬は、ぱちりとまばたきした。春花は、その美しい目に、すいこまれそうな気がした。

長岡　森田　実咲

ある夜のこと、月は、楽器倉庫の上を通りかかりました。すると、どこからか音楽が流れてきました。月は、音のする方へ近づいていきました。

浦ノ内　中平　澪里

ある夜のこと、月は、楽器倉庫の上を通りかかりました。すると、どこからか音楽が流れてきました。月は、音のする方へ近づいていきました。

大谷北　大木　陽智

ある夜のこと、月は、楽器倉庫の上を通りかかりました。すると、どこからか音楽が流れてきました。月は、音のする方へ近づいていきました。

長岡　小笠原　湊

ある夜のこと、月は、楽器倉庫の上を通りかかりました。すると、どこからか音楽が流れてきました。月は、音のする方へ近づいていきました。

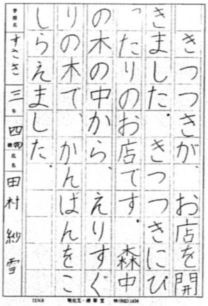
池川　北村　日和

ある夜のこと、月は、楽器倉庫の上を通りかかりました。すると、どこからか音楽が流れてきました。月は、音のする方へ近づいていきました。

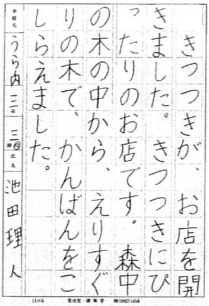
浦ノ内　正木　芳尚

きつつきが、お店を開きました。きつつきにぴったりのお店です。森中の木の中から、えりすぐりの木で、かんばんをこしらえました。

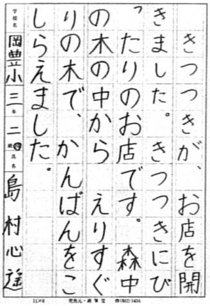
須崎　田村　紗雪



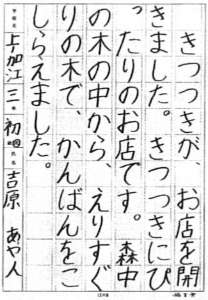
浦ノ内　池田　理人



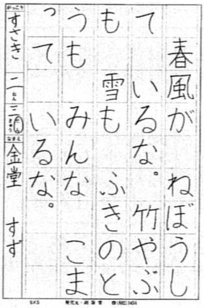
岡豊　島村　心遥



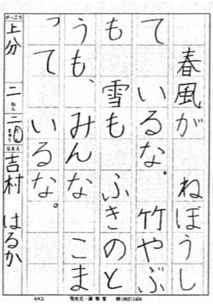
上ノ加江　吉原あや人



すさき　金堂　すず

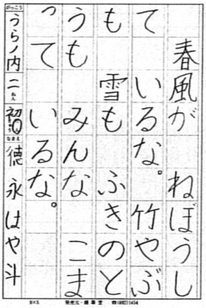


上分　吉村　はるか

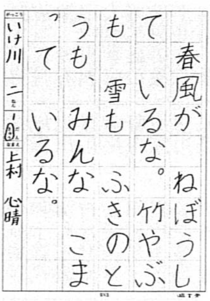


うらノ内　山岡　みずき

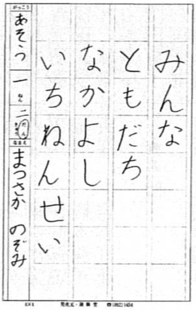
うらノ内　徳永　はや斗



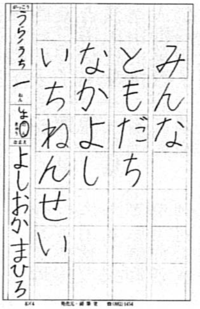
いけ川　上村　心晴



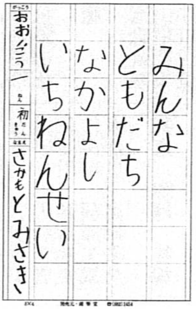
あそう　まつさかのぞみ



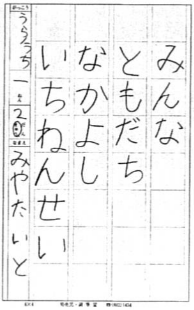
うらノうち　よしおかまひろ



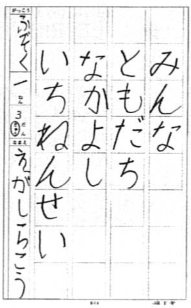
おおノごう　さかもとみさき



うらノうち　みやた　いと

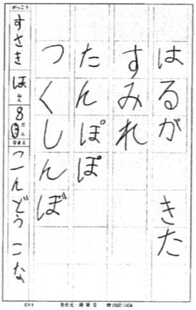


ふぞく　えがしらこう



かみぶん　なかじまゆいと

すさき　こんどう　こな



第953回競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

審査　梅川　桂龍

（※印写真版）

★推薦

※江西澄翠
※西山極山
※中平美峰
※伊吹悠道

★天位

※門田恵子
※大原桂園
※浜崎洋堂
※弘田賀峰
※広田秋桜
大石千施
深瀬緑堂
岡林邦心
野中恵花
横田紫秋
大平圭子
津野恵泉
佐竹江月
河村容舟

大野美賀
岡田雄山
横山桂華
山脇佳月
森光望春

★地位

※田村和子
※岩河里華
※坂本碧香
市原處艸
明石美桂
山本心春
小笠原廣峰
氏原美泉
吉永光翠
中城康華
池　芳春
藤原朱鳳
武政幽雅
今井真理
笠原多嘉
岡林　翠
岩谷紅花
大崎紫陽
田村眉州
鎌倉春葉

★人位

※濱田幸子
※高橋美草
横山星舞
山崎隆志
城尾　彩
山川百合
森澤美佑貴
松本世津
西岡仁陽
高橋桜芳
川崎志津

規定

審査　廣末　幽念

★師範

越知　大原桂園
須崎　深瀬緑堂
旭筆　浜崎洋堂
須南　野中恵花
旭筆　大八木洋女
山田　水田紅子
山田　岡本空仁
東洋　弘田賀峰
須崎　江西澄翠
南国　西山極山
久礼　中平美峰
須崎　野島桂山
山田　岡林邦心
旭筆　河村容舟
旭筆　岩河里華
久礼　奥堂皓月

香北　市原處艸
波介　萩野羽花

★準師範

旭筆　天野喜泉
久礼　山中紅風
佐川　井口花道
旭筆　西森令泉
山田　田村和子
山田　西内仁子
高知　桑原智子
山田　吉田深美
越知　横山桂華
吾桑　堅田清園
旭筆　大野美賀
吾桑　松浦明子
吾桑　大崎花梢
高知　大平圭子
須南　田村眉州
須南　森光望春
久礼　窪田碧泉
窪川　林　緑翠
須崎　山本惠歩
山田　門田惠子
佐川　戸田孝北
旭筆　山川百合
佐川　小野山美喜
上加　佐竹江月
越知　池　芳春
久礼　田中恵風
仁淀川　大崎紫陽
越知　岡田雄山
須南　氏原美泉
旭筆　平井桂草
南国　池川千晶
吾桑　高橋桜芳

安芸　岩崎竹山
山田　大石千施
仁淀川　鎌倉春葉
仁淀川　藤原朱鳳
大野見　髙橋朱鳥

審査　塚地　桂峰

★六段

窪川　今井真理
鷹ノ巣　松本世津
窪川　広田秋桜
大野見　下元玉泉
南国　小笠原廣峰
久礼　浪上理奈
須崎　岡村玉水
久礼　坂本碧香
窪川　明石美桂
香北　岡村妙慧
東洋　伊吹悠道
旭筆　橋本祝子
東洋　岩谷紅花

★五段

窪川　武政幽雅
窪川　中城康華
旭筆　鈴木輝代
窪川　津野恵泉
窪川　吉永光翠
窪川　山脇佳月
野市　田村星子
旭筆　濱田幸子
窪川　笠原多嘉
旭筆　大井淳
越知　岡林　翠

★四段

佐川　西森啓助
香北　岡本薫山
大野見　高橋翠園
旭筆　山崎隆志
須南　浜　恵子
仁淀川　山本心春
香北　岡本美水
旭筆　濱田順子
須崎　横山星舞
東洋　滝下明美
須崎　高橋伸水

審査　武内　美仁

★三段

窪川　横田紫秋
山田　中澤英子
高知　坪内倫子
山田　西岡仁陽
香北　杉本美邦

★二段

波介　森澤美佑貴
窪川　高橋美草

★初段

多ノ郷　市川美香
仁淀川　藤原勝子
馬路　金子知加
馬路　井上由利子
仁淀川　後藤和美
須崎　和田恵美

東洋　西尾明美
仁淀川　吉村久美子
仁淀川　大原紀美子
仁淀川　山中あや
東洋　松島利恵
仁淀川　山本　房
東洋　前田伸枝
仁淀川　城尾　彩
仁淀川　中内泰子
久礼　濱田美恵子
仁淀川　掛水勝恵

審査　大八木洋女

★一級

須崎　橋本和世
高知　川崎志津
須崎　松坂美枝
馬路　久保可奈
馬路　川内みさ
久礼　山中英男
馬路　芝　沙織
東洋　小松悦枝
南国　田内史恵

★五級

須南　○西村小百合

★新規

六級編入

池川　川下久美

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切って下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

随意

審査　福原　暁雲

★師範
大原桂園
市原處艸
弘田賀峰
中平美峰
岩河里華
江西澄翠
深瀬緑堂
水田紅子
野中恵花
岡林邦心
西山極山
萩野羽花
岡本空仁
大八木洋女
浜崎洋堂
河村容舟
奥堂皓月

★準師範
氏原美泉
天野喜泉
松浦明子
岩﨑竹山
大野美賀
戸田孝北
藤原朱鳳
桑原智子

小野山美喜
田村眉州
山中紅風
平井桂草
窪田碧泉
西森令泉
森光望春
鎌倉春葉
山川百合
山本恵歩
井口花道
大崎紫陽
西内仁子
田村和子
髙橋朱鳥
吉田深美
高橋桜芳
横山桂華
門田恵子
大平圭子
岡田雄山
池　芳春

審査　前田　秀華

★六段
坂本碧香
伊吹悠道
岩谷紅花
下元玉泉
浪上理奈
松本世津
小笠原廣峰
橋本祝子
岡村妙慧

★五段
岡林　翠
鈴木輝代
大井　淳
濱田幸子

★四段
横山星舞
西森啓助
濱田順子
浜　恵子
高橋翠園
滝下明美
岡本薫山
岡本美水
山崎隆志

審査　野島　桂山

★三段
坪内倫子
横田紫秋
西岡仁陽
中澤英子
杉本美邦

★二段
森澤美佑貴

★初段
西尾明美
金子知加

前田伸枝
掛水勝恵
山本　房
大原紀美子
中内泰子
藤原勝子
井上由利子
濱田美恵子
和田恵美
松島利恵
市川美香

審査　岡林　邦心

★一級
小松悦枝
川﨑志津
松坂美枝
橋本和世

★五級
○西村小百合

第887回毛筆成績

○印は昇級

中学部

審査　大原　桂園

三年

★特待生
朝ヶ丘　黄之瀬凪
南　竹内雄星

二年

★特待生
朝ヶ丘　橋田茉奈

一年

★九段
鳶ヶ池　安井風葵
上分　西森美陽
鳶ヶ池　猪野雛子

★七段
池川　藤原乙羽

小学部

★一級
越知　米澤知那

毛筆六年

審査　中平　美峰

★九段
多ノ郷　森光陽菜
新荘　鍋島　綜

★八段
長岡　押岡風佳

★七段
長岡　高芝仁貴
長岡　二宮嘉奈子
多ノ郷　森岡快晴
上分　朝比奈来夢

★六段
上分　弘田美結

★三段
別府　庄武聖愛

毛筆五年

審査　深瀬　緑堂

★八段
多ノ郷　大城リサ

★七段
須崎　松田菜乃
上分　梅原百叶

★六段
長岡　宮脇改太
須崎　谷口桜心
上分　小松希美

★五段
長岡　北村さくら子
多ノ郷　橋田天冴
岡豊　島村倖空

★四段
上分　田邉璃音
長岡　竹内陽南子

(出品票)

のり代
6年 6月 条幅
氏名
臨書は出典名

須崎　田村拓海
上分　柳本稀衣

★三段
吾桑　梅原蒼茉

★二段
岡豊　中司こころ

★一級
別府　後藤　樹

毛筆四年

審査　奥堂　皓月

★七段
長岡　森田実咲

★六段
小高坂　川西康介

★四段
須崎　金堂莉李
吾桑　高橋蒼來
佐古　田村健悟
馬路　小松太緒
吾桑　松坂美緒音
須崎　津野聖佳

★二段
吾桑　吉門蒼馬

★初段
長岡　小笠原　湊
長岡　西内明利
吾桑　宮﨑穂花

★二級
長岡　○溝渕蒼功

★五級
上分　中山ゆめ

毛筆三年

審査　河村　容舟

★五段
須南　西村太希
須崎　毛利香花

★四段
浦ノ内　正木芳尚
須崎　領木彩美
須崎　田村紗雪

★三段
上分　梅原未來

★二段
多ノ郷　太田朋希
長岡　押岡息吹
長岡　猪野光騎
岡豊　島村心遥
長岡　竹内伽菜心

★初段
多ノ郷　森光梨衣奈
長岡　宮脇治太

★一級
吾桑　長山優奈

★五級
越知　○藤﨑かの

★新規
九級編入
長岡　澤村郁菜

もうひつ二年

審査　佐竹　江月

★三段
須崎　金堂すず

★二段
上分　吉村はるか

多ノ郷　森光れんたろう

★初段
吾桑　高橋依吹
上分　はし田いちか
多ノ郷　橋田かほ
しんじょう　中じまあやと

★一級
朝倉　根口心花

★三級
須南　○田中にこ
岡豊　○島村昇冴
岡豊　○中司みのり

★四級
須崎　谷口きずな

もうひつ一年

審査　天野　喜泉

★初段
吾桑　松坂望未

★新規
八級編入
吾桑　梅原由茉
九級編入
池川　掛水ゆいと

もうひつ ようち・ほいく

★四級
上分
○なかじまゆいと

★八級
須崎
○こんどうこな
ふたば○後藤和葉

（出品票）　低学年の生徒名も５字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代
6年 6月 規定
地名
氏名
段
級

第686回 硬筆成績

○印は昇級

硬筆（こうひつ）六年

審査　江西　澄翠

★特待生
多ノ郷　森光陽菜
新荘　鍋島綜

★九段
浦ノ内　矢野蒼真
長岡　押岡風佳
初月　川渕結衣

★八段
久礼　濵田奏

★七段
長岡　高芝仁貴
馬路　牛窓環菜
上分　朝比奈来夢
多ノ郷　森岡快晴
上分　弘田美結

★六段
長岡　二宮嘉奈子
藤沢　駒崎愛恵

★五段
浦ノ内　森田大翔
須崎　竹村奏佑
南　西山あい

★四段
上加　政岡明里

★三段
須崎　川西桜空
城東　持田和花
大谷北　山﨑流依
須崎　川西蒼空
馬路　浅野由梨

★二段
大谷北　倉持陽向
大谷北　大木柚杏

硬筆（こうひつ）五年

審査　森本　寿山

★八段
上分　梅原百叶
多ノ郷　大城リサ
多ノ郷　松浦結菜

★七段
須崎　松田菜乃
一ツ橋　田辺蒼月
上分　小松希美
附属　江頭咲良

★六段
長岡　宮脇改太
長岡　竹内陽南子
長岡北　村さくら子
久礼　森岡虹
久礼　窪田茉優
浦ノ内　松山翔
浦ノ内　美島希以花
浦ノ内　津野凌功
須崎　谷口桜心
多ノ郷　橋田天冴

★五段
越知　片岡杏璃
上分　田邊璃音
浦ノ内　森田璃葵

★四段
上加　政岡桃加
吾桑　梅原蒼茉
浦ノ内　山本彩喜
江ノ口　下村亜李衣
岡豊　島村倖空
須崎　田村拓海
浦ノ内　山岡隼士
上分　柳本稀衣

★三段
潮見　須賀勇介
上加　岩田愛菜
浦ノ内　久保田健介
浦ノ内　森田理央

★二段
岡豊　中司こころ
岡豊　田所萌羽

★初段
浦ノ内　中田瑚音
藤沢　駒崎信慈

★新規
八級編入
吾桑　高橋芽生奈

硬筆（こうひつ）四年

審査　野中　恵花

★七段
長岡　森田実咲

★六段
小高坂　川西康介
須崎　谷脇愛來

★五段
佐古　田村健悟

★四段
吾桑　松坂美緒音
吾桑　高橋蒼來
須崎　津野聖佳
須崎　金堂莉李
久礼　今橋那ノ葉
久礼　薦田コモモ
越知　米澤はると

★三段
浦ノ内　中平澪里
久礼　黒原小夏
越知　西森優奈
馬路　木下歌乃

のり代
6年 6月 随意
臨は出典名
氏名
段
級

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
書道用具萬般乞来店

㈱

高知市南宝永町14－18
TEL　㈹（882）1394番
夜間・TEL　（882）1392番

★二段
吾桑　宮崎穂花
久礼　笹岡玲斗
吾桑　吉門蒼馬
上分　橋田　陸

★初段
大谷北　大木陽智
長岡　小笠原湊
長岡　西内明利
吾桑　笹岡蒼馬
越知　大原ほのか

★一級
池川　北村日和
池川　片岡亜李紗

★四級
奈路　植野　新

★五級
長岡　○溝渕蒼功

★六級
久礼　○堀田瑛太

★七級
上分　中山ゆめ

★九級
久礼　○西村波琉

硬筆三年（こうひつ）

審査　市原　處艸

★五段
浦ノ内　正木芳尚
須南　西村太希
須崎　毛利香花
須崎　領木彩美

★四段
須崎　田村紗雪

★三段
浦ノ内　池田理人
江ノ口　下村亜弥衣
浦ノ内　森田羽奏
浦ノ内　森田彩葉
浦ノ内　山本みずき
上分　梅原未來

★二段
岡豊　島村心遥
長岡　竹内伽菜心
越知　藤崎かの
長岡　押岡息吹
多ノ郷　太田朋希
多ノ郷　坂本大和
多ノ郷　森光梨衣奈

長岡　宮脇治太
久礼　蔵下夏愛

★初段
上加　吉原あや人
上加　片山ひまり
久礼　日林ゆあ
久礼　松山愛凛
吾桑　長山優奈
長岡　猪野光騎

★三級
久礼　黒原小春

★新規
十級編入
長岡　澤村かな
浦ノ内　森田海音
城北　富田結羅

こうひつ二年

審査　小川　理香

★三段
須崎　金堂すず

★二段
上分　吉村はるか
吾桑　高橋依吹
多ノごう　橋田かほ
多ノごう　森光れんたろう

★初段
浦ノ内　山岡みずき
浦ノ内　徳永はや斗
朝倉　根口心花
しんじょう　中じまあやと
上分　はしだいちか
久礼　黒原りか
浦ノ内　岡林ゆい花

★一級
池川　上村心晴
須南　田中にこ
池川　片岡紗雪
池川　北村心暖

★二級
長岡　安井　颯
奈路　植野　葵
池川　伊藤日向

★三級
吾桑　鈴木　花
須崎　谷口きずな

★四級
岡豊　○中司みのり
久礼　○下谷ことは
久礼　政岡ゆみ

★五級
岡豊　○島村昇冴

★六級
上加　○木村ひらと
長岡　○金堂こうすけ

★七級
上加　○政岡そうし

★十級
久礼　○いわせわたる
久礼　○小林なほ
馬路　○木下かいと
久礼　○近藤みのり

★新規
十級編入
上加　大内ゆずの

こうひつ一年

審査　石川　美水

★二段
吾桑　松坂望未
吾桑　梅原由茉

★初段
浦ノ内　よしおかまひろ
多ノ郷　坂本美咲

★二級
浦ノ内　○宮田いと

★三級
附属　○江頭　航

★六級
浦ノ内　○中平ゆうだい

★新規
九級編入
久礼　森岡べに
十級編入
池川　黒川琴寧

こうひつ ようち・ほいく

審査　石川　美水

★四級
上分　○なかじまゆいと

★六級
ふたば　○後藤和葉

★七級
須崎　○こんどうこな

お知らせ

★第69回須崎市展

会期・令和6年5月23日(木)～5月28日(火)
午前9時～午後5時
(最終日は3時まで)

搬入日・5月19日(日)
午前9時～正午(時間厳守)

★中土佐町展

会期・令和6年10月25日(金)～10月27日(日)
午前9時～午後5時

中国文房四宝
国産書道用品
久保田号銘筆

有限会社

〒780-0818 高知市宝永町3-3
TEL (088) 882-1454
FAX (088) 884-7413

(出品票)

のり代	
6年 6月 毛筆	
校名	
学年	保 年
氏名	
段級	

のり代	
6年 6月 硬筆	
校名	
氏名	
段	

令和６年度　書道関係日程表

名　称	会　期	会　場
第76回 高 知 市 展	5月25日（土） ～6月 9日（日）	かるぽーと　全室
第19回 翔風会かな書展	6月12日（水） ～6月16日（日）	美術館 県民ギャラリー
第12回 蒼玄会書展	6月18日（火） ～6月23日（日）	かるぽーと　第１室
第67回 龍跳書道展	6月25日（火） ～6月30日（日）	美術館 県民ギャラリー
第40回 平和美術展	7月 2日（火） ～7月 7日（日）	美術館 県民ギャラリー
第38回 高知県独立書展	7月16日（火） ～7月21日（日）	かるぽーと 第１・２室
澤田叩石個展	7月16日（火） ～7月21日（日）	かるぽーと　第４室
高知県教職員友の会作品展	7月23日（火） ～7月28日（日）	かるぽーと　第４室
第55回 筆の友書道会展	7月24日（水） ～7月28日（日）	かるぽーと 第１・２・３室
第46回 高知現日書展	8月27日（火） ～9月 1日（日）	かるぽーと　第１室
第11回 橋雅会書展	9月 3日（火） ～9月 8日（日）	かるぽーと　第４室
第４回 創辰社書展〝心の発信〟	9月13日（金） ～9月15日（日）	美術館 県民ギャラリー
第28回 高知県障害者美術展スピリットアート	10月11日（金） ～10月20日（日）	美術館第４展示室
第78回 高 知 県 展	10月12日（土） ～10月27日（日）	かるぽーと/美術館 同時開催

※令和６年３月10日時点の情報を元に作成しております。

展覧会の日程・名称・搬入日は変更の場合があります。お確かめの上、ご来場ください。

キ・リ・ト・リ

◎楷書で丁寧にご記入下さい。

第67回　龍跳書道展出品票

項目	記入欄
氏名	ふりがな
住所	〒　－ （番地まで記入のこと）
大きさ	たて・よこ （半折・全紙横・連落等の書き方も可）
題名	
雅号	ふりがな
電話	（　　）　－
形式	（左のいずれかを○でかこむ） 額・枠・軸・屏風
懇親会	未定
当番希望日	○で囲んで下さい。 （　）日の ・午前9時～午後1時 ・午後1時～5時 （最終日3時迄） ※連絡のない限り希望日の当番をお願いします。

※作品横（又は下）に添付します。丁寧に書いて下さい。

釈　文
押ピン
（姓　号）
（　　　　）

※出品票は五月二十六日㈰審査日迄に必ず提出して下さい。

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先
・「龍跳誌」冊数変更の通知先
〒781―1501　吾川郡仁淀川町大崎一三三―一
隅　田　亘　心
電話（〇八八九）三五―〇九七一番
龍跳書道会　振替口座番号
０１６９０―３―３１９２５

・月例作品の送り先
〒783―0081　南国市片山四九〇
西　山　極　山
電話（〇八八）八六五―八八五七番

・「龍跳誌」の内容について
〒781―7412　安芸郡東洋町河内三〇四
福　原　暁　雲
電話（〇八八七）二九―二六五〇番

・編集についての連絡先
〒785―0010　須崎市鍛治町六―八
江　西　澄　翠
電話（〇八八九）四二―三〇六七番

・送本についての連絡先
（冊数の相違等については当方へご連絡下さい。）
〒785―0055　須崎市大谷二〇四
野　中　恵　花
電話（〇八八九）四七―〇七二一番

あとがき

永い間、本会にご尽力くださいました出間桂堂先生がお亡くなりになったと、新聞で見て知りびっくりしました。九一歳であったそうです。

まだ元気に庭の草を引いたりしているとの声を聞いていましたが、残念です。優しい穏やかな先生でした。同じ郵便局出身という事もありよく指導していただきました。今でも「幽念さんお手本書くにも100枚ぐらい書くぞねえ」と、話されていたのを思い出します。月例審査会にもほとんど出席され、会の行く末を気に掛けてくれていました。熱心に指導もされていました。沢山のお弟子さんを育てられ、会の運営等でも活躍されていました。

また、先生はお酒も好きでした。よくひろめ市場や葉牡丹へと足を運び、楽しい時間を過ごしました。

ご家族、ご親戚の方々にお悔やみ申し上げ、先生のご冥福をお祈り申し上げます。

― 幽念 ―

月例競書課題

部別／締切日	六月二十日締切	七月二十日締切
一般条幅	任意	任意
半紙規定	鞍馬去孤城	草木歳月晩
半紙随意	任意	任意
中学三年	港の風景	家庭学習
〃二年	港の風景	家庭学習
〃一年	学校放送	不言実行
小学六年	池の木立	富士登山
〃五年	大きな船	松風の音
〃四年	魚つり	広い海
〃三年	安全	花火
〃二年	ろば	せみ
〃一年	たこ	うり
保育	たこ	うり

月例作品送り先
〒783-0081 南国市片山四九〇
西山極山 宛
電話（088）865-8857

会費の送金について

会　費　：半年分　3,000円／１年分　6,000円

１ヶ月の龍跳誌郵送料
（幸便搬送の方は〒料不要）

Ⓐ	１冊～３冊	８０円
Ⓑ	４冊～８冊	１５０円
Ⓒ	９冊・10冊	２１０円

１１冊以上は次の計算による。（１ヶ月分）

〈例〉　１２冊　Ⓒ＋Ⓐ＝２９０円×月数
　　　１７冊　Ⓒ＋Ⓑ＝３６０円×〃
　　　３０冊　Ⓒ×３＝６３０円×〃

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または１年分前納のこと。
◎送金は次の何れかへ
・〒781-1501　吾川郡仁淀川町大崎133-1　隅田亘心
・振替口座番号　０１６９０－３－３１９２５　龍跳書道会
（お問い合せ）☎０８８９－３５－０９７１

○月号（○冊）より○月号まで○ヶ月分 誌代　○円　／　〒料　○円

と記入のこと。

編集室　福原暁雲　野島桂山　江西澄翠　中平美峰

発行人　福原暁雲（本部）
安芸郡東洋町河内三〇四
電話（〇八八七）二九－二六五〇

発行所　龍跳書道会
電話（〇八八七）二九－二六五〇

印刷所　㈲笹岡印刷所
須崎市東古市町二－一六
電話（〇八八九）四二－〇二四四